

■泉北ニュータウンの概要

【表-1-2 泉北ニュータウンの現況（堺市分）】

人口	116,693 人
世帯数	56,271 世帯
戸数	約 58,698 戸 集合住宅 約 41,990 戸 戸建住宅 約 16,708 戸

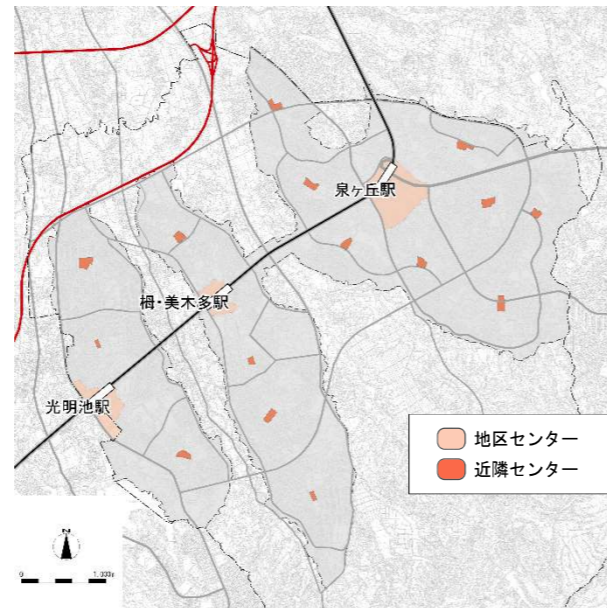
資料：人口、世帯数は住民基本台帳人口及び外国人登録人口（令和2年4月末現在）
公的賃貸住宅は平成28年3月31日時点の現況管理戸数。戸建て住宅は平成27年度堺市泉北ニュータウン空家調査、その他の住宅は住宅地図（平成27年10月）による



■泉北ニュータウンの魅力

○コロナの時代にも活用できる徒歩圏域を中心とした都市計画の思想がある

- ・「田園都市論」（E・ハワード）や「近隣住区論」（C.A.ペリー）の考えに基づいた都市計画
- ・近代都市計画の考えに基づき、小学校区を一つのコミュニティ基礎単位として住区を形成
- ・住区内は通過交通を排除し、歩行者利用の緑道が地区内の住区を結ぶ
- ・住区の中心部には商業施設や生活支援サービス施設のある近隣センターや、公園、幼稚園・保育所、医療センター等が整備



○広域的な機能を持ち、近接する都市からも求心力を感じられる

- ・地区センターは、それぞれ特色があり、全体として機能の分散、補完が図られている

地域	特徴
泉ヶ丘地区センター	ニュータウン全体及びその周辺地域にも商圏がおよぶ中核的タウンセンターとして商業・レジャー施設など
榎地区センター	行政・文化教育施設など
光明池地区センター	商業・業務・体育施設など

- ・ニュータウン内及び周辺エリアには、高等教育施設、福祉施設、総合病院、スポーツ・レクリエーション施設、大規模商業施設等も立地
- ・近年、東大谷高等学校、大阪健康福祉短期大学、近畿大学医学部等の教育機関が立地

○特徴的な住宅ストックを有している

- ・住宅の構成は、全体戸数の3/4が公的賃貸住宅や分譲マンションなどの集合住宅、1/4が戸建住宅やタウンハウス等の低層住宅
- ・コーポラティブ住宅、テラスハウスやコンペ方式によって設計された集合住宅など、時代背景を反映した多様な住宅供給を実施
- ・近年、府公社と堺市の連携によるニコイチの取り組みやUR・府公社と堺市が連携した住戸リノベーション事業の取組等を実施



住戸リノベーション事業

○公共交通を補完する取り組みが展開されている

- ・泉北高速鉄道の各駅を起終点とする路線バス網が充実、ふれあいバスの運行などもあり、区役所等の施設利用の利便性を高めている。
- ・近年、泉北ニュータウンにおける自動運転の実証実験等のスマートシティの取組が始まっている。

○歴史・文化を継承しつつ、現代でも活用できる史跡、社寺、芸能がある

- ・ニュータウンの造成に伴い調査・発掘された陶器（すえむら）窯跡群出土品（重要文化財）
- ・櫻井神社（国宝）、法道寺（重要文化財）、多治速比売神社（重要文化財）などの社寺
- ・櫻井神社に奉納される「上神谷（にわだに）のこおどり（大阪府指定無形民俗文化財）」
- ・榎文彦、村野藤吾、坂倉準三などが設計した名建築

○豊かな緑とニュータウン周辺の農地や里山などの田園環境に恵まれている

- ・都市計画公園・緑地面積が約300ha（平成20年3月末現在）
- ・これらの公園・緑地、駅や近隣センター等を結ぶように緑豊かな歩行空間（緑道）が整備
- ・泉北ニュータウンの周辺は市街化調整区域。良好な里地・里山景観を備えた優良な農地が保全
- ・周辺地域には、ハーベストの丘（体験型農業公園）や堺自然ふれあいの森（里山体験施設）、フォレストガーデン（市民菜園）、その他市民農園や農産物の販売所等が開設されており、身近なところで豊かな自然環境や田園風景に触れることができる。

○まちづくりの担い手となる人材が豊富にある

- ・近年自治会等の地縁型コミュニティだけでなく様々なテーマで市民が集い地域づくりを担う動きが活発になっている。
- 例）泉北をつむぐまちとわたしプロジェクト、泉北ニュータウン住宅リノベーション協議会、みないき農業塾、いずみがおか広場つなげる Days 泉北ニュータウンまちびらき50周年事業市民委員（WONDER SENBOKU）三原台の未来を考えるワークショップ など

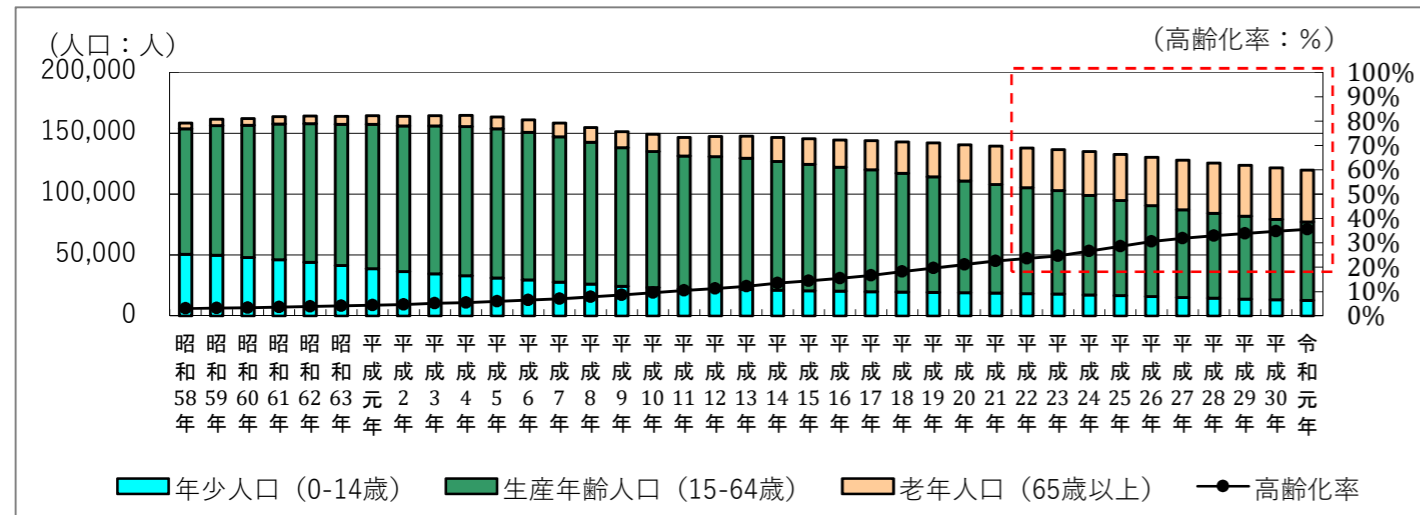


泉北をつむぐまちとわたしプロジェクト

■泉北ニュータウンの現況と課題点

○人口の減少、高齢化の傾向が強くなってきている。

・10年前と比較すると特に老年人口の増加が顕著に表れている。



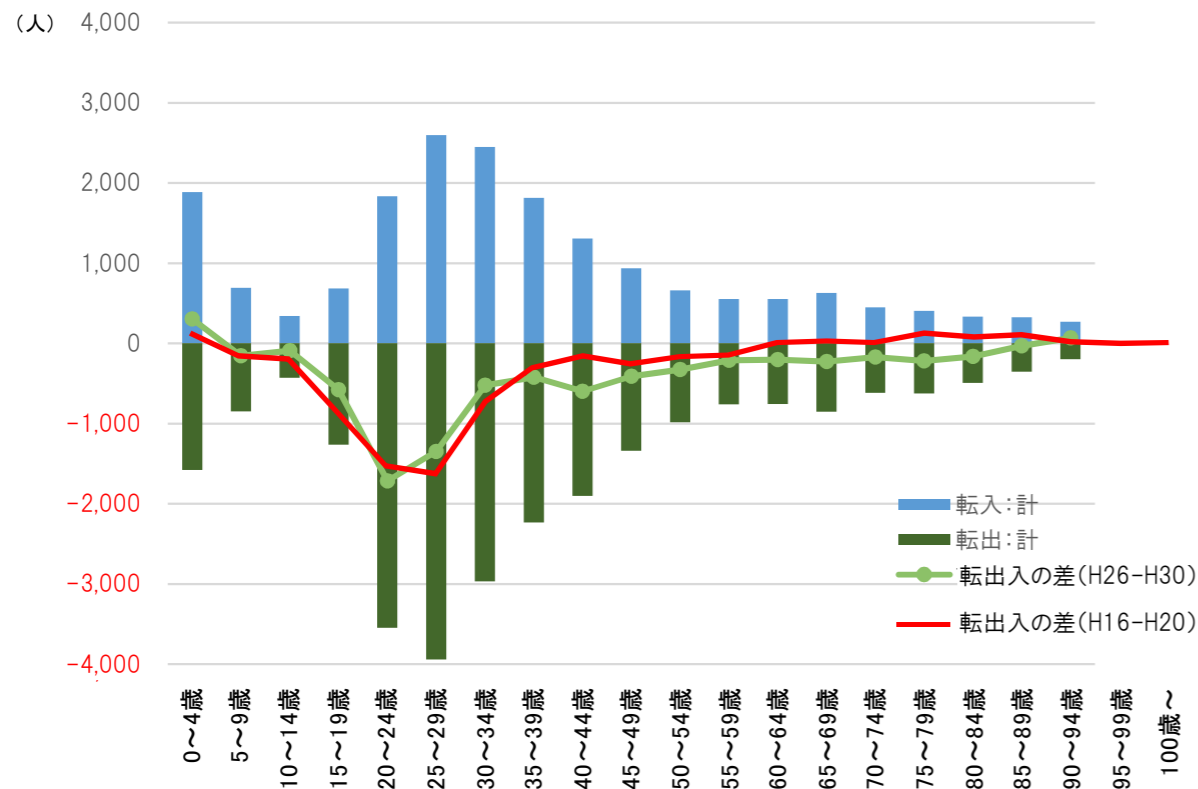
年齢階層別人口比率の推移

(平成11年までは住民基本台帳人口、平成12年以降は住民基本台帳人口及び外国人登録人口より作成。各年12月末日現在)

○世帯分離による若年層の地区外転出が多い。

・10年前と比較すると、0-9歳人口の転入が多くなっている。

・10年前と比較すると、35歳以上は転出傾向の増加がみられる。



堺市南区の転出入の状況 (H26-H30 年度計)

(資料：平成30年実績 住民基本台帳人口移動報告より作成)

■泉北ニュータウンと同じ人口規模の自治体との比較

○基礎情報

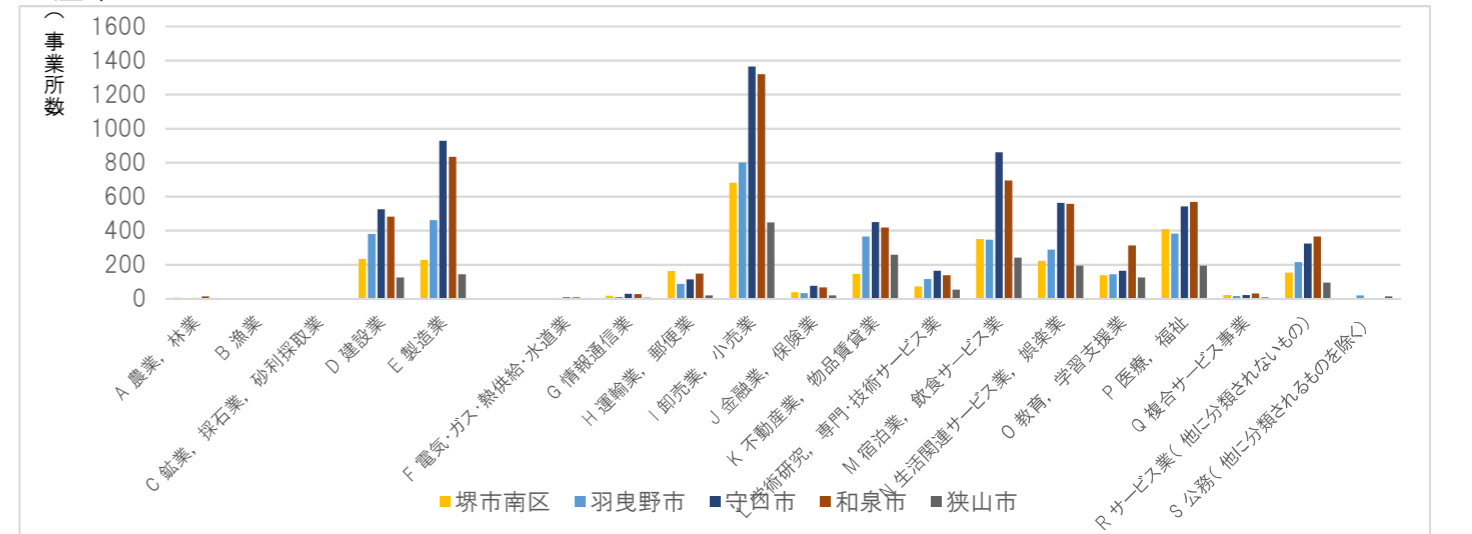
	堺市南区	羽曳野市	守口市	和泉市	大阪狭山市
人口 (人)	141,450	110,494	143,858	185,540	58,745
世帯数 (世帯)	65,493	50,566	73,191	80,210	25,975
面積 (km ²)	40.39	26.45	12.71	84.98	11.86
人口密度 (人/km ²)	3,502.10	4,177.47	11,318.49	2,183.34	4,953.20

	堺市南区	羽曳野市	守口市	和泉市	大阪狭山市
常住人口 [H27] (人)	147,626	112,683	143,042	186,109	57,792
昼間人口 [H27] (人)	126,178	96,966	136,585	161,475	51,316
昼夜間人口比率 (%)	85.5	86.1	95.5	86.8	88.8

(参考)	堺市堺区	堺市中区	堺市東区	堺市西区	堺市北区	堺市美原区	堺市全体
常住人口 [H27] (人)	148,205	124,543	85,189	135,746	158,845	39,156	839,310
昼間人口 [H27] (人)	171,625	114,554	67,202	131,263	130,828	43,674	785,324
昼夜間人口比率 (%)	115.8	92.0	78.9	96.7	82.4	111.5	93.6

	堺市南区	羽曳野市	守口市	和泉市	大阪狭山市
緑被率都市公園一人当たりの面積 (m ²)	22.8	3.6	8.8	8.07	5.6

○産業



○農業

	堺市南区	羽曳野市	守口市	和泉市	大阪狭山市
農業経営体数 (経営体)	235	306	37	360	136
農業出荷額 (千万円)	328 (※市全体)	227	3	207	38

○工業

	堺市南区	羽曳野市	守口市	和泉市	大阪狭山市
製造品出荷額 (万円)	4,221,358	13,916,166	13,460,547	16,208,809	5,226,342